

インドにおける日本留学フェア（9月実施報告）

日本留学フェア日程と参加機関：

- 9/19@Taj Gateway Hotel ・ ・ 在印日本大使館・JST・東京大学
- 9/20@Andhra University Dr. Murthy Auditorium Department of Engineering ・ ・ 在印日本大使館・JST・東京大学
- 9/24-25@College of Engineering, PUNE (COEP) ・ ・ 在ムンバイ日本国総領事館・JST・桜美林大学・静岡大学・創価大学・東京大学・立命館大学
- 9/26@APTE Jr. College ・ ・ 静岡大学・創価大学・東京大学・立命館大学
- 9/26@Bharati Vidyapeeth University ・ ・ JST・東京大学
- 9/27@R.N. Podar School ・ ・ JST・静岡大学・創価大学・東京大学・立命館大学
- 9/27@DHIRUBHAI AMBANI International School ・ ・ JST・静岡大学・東京大学・立命館大学
- 9/28@The Cathedral & John Connon School ・ ・ JST・静岡大学・創価大学・東京大学・立命館大学
- 9/28@IIT Bombay ・ ・ 在ムンバイ日本国総領事館・JST・静岡大学・創価大学・東京大学・立命館大学

1) 9月19日 Taj Gateway Hotel（ヴィンジャーカバトナム）

Indo American Education Summit 2016（主催：米国大学協会／Indus Foundation）にブース参加し、約50人程の学生から日本留学の問合せがありました。

2) 9月20日 アンドラ大学（ヴィンジャーカバトナム）

日印関係者が登壇して日本留学説明会を開催しました。前日19日は記者会見を行い、在インド大使館が約40名の報道陣の前に挨拶を行いました。掲載記事をご参照ください。当日は、日本語センターMurthy教授が同大学と日本との関係を説明された後、学長が歓迎の辞と共に本説明会の意義を述べました。

続いて在インド大使館、JST、東京大学がそれぞれ日本留学の魅力とプロジェクトを参加学生140名に紹介しました。

活発な質疑応答が行われ、天然の良港に面した立地の州立大学ならではの海洋工学やインド南部で盛んなコンピューター工学への関心の高さが表れていました。



アンドラ大学の会場の様子



（手前左）アンドラ大学で日本留学を説明する在インド大使館 児玉一等書記官

3) 9月24～25日 College of Engineering, PUNE（プネ）

同大学の学園祭MindSpark16にて日本留学説明会オープニングセレモニーおよびブース出展を行いました。オープニングセレモニーには982人が出席し、COEP学長より歓迎の辞、地元日本人会長そして主賓ムンバイ総領事のお言葉を戴きました。加えて、地元IT企業社長や日本語教師の応援演説、そしてさくらサイエンスで鳥取大学を訪問交流したCOEP学生2人の発表もあり会場は盛り上がりました。各ブース来場者は約70人、途切れなく来訪者がいました。翌25日は、市内で100万人以上のデモ行進があった影響で、来場者は少なくなりました。

プネにおけるイベント全般に関して、シャープインド前社長の磯貝様およびAOTS同窓会より甚大な協力をいただきました。



会場入り口風景



会場客席



本学インド事務所長より参加大学の紹介



初参加の桜美林大学の御挨拶



JST西川代表からの発表



登壇挨拶に立ち上がるCOEP学長

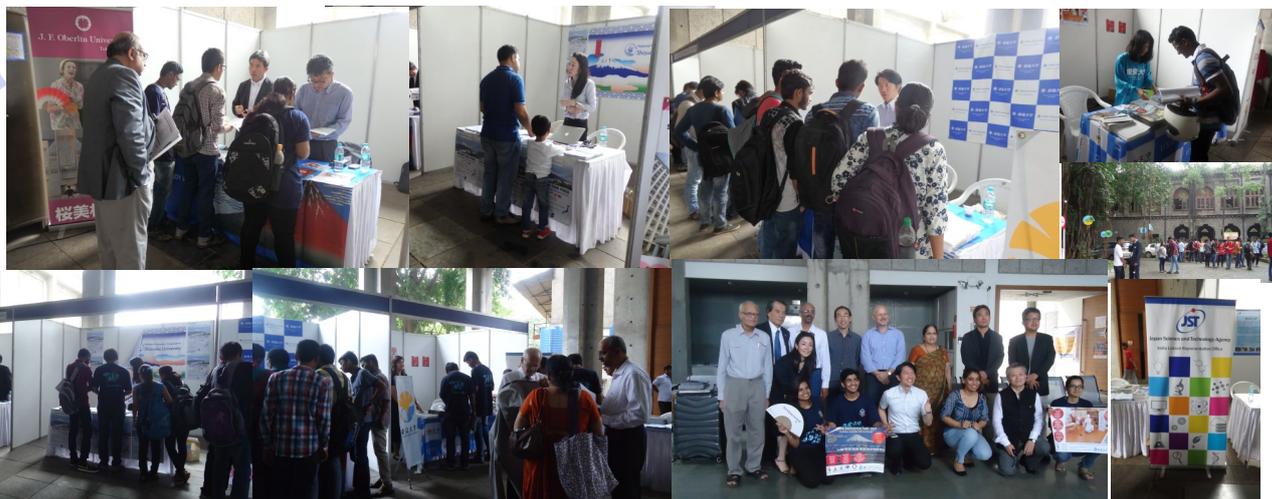
参加者数：

9/19 (1)	地元プレス	40
9/19 (2)	大学生中心	50
9/20	大学生中心	140
9/24	大学生中心	1,052
9/25	大学生・一般	40
9/26 (1)	高校生	145
9/26 (2)	大学生	190
9/27	高校生中心	155
9/28	大学生	210



インドにおける日本留学フェア（9月実施報告）

ブースの風景
9/24-25 in プネ



4-1) 9/26 APTE Jr. College (プネ)

APTE学園国際観光学科で、まずは新幹線ビデオを上映して日本紹介を行い、交流会を持ちました。生徒合唱オーシャンゼリゼで歓迎を受けました。

10時に講堂に移動し10時20分から説明会を実施しました。生徒は11年生145人が参加し、真剣に聞いてくれました。

校長先生からは地元マラティ語での歓迎

の挨拶がありました。純粋に耳を傾ける生徒達を前に、地方都市での草の根活動の重要性を感じました。AOTS同窓会から応援協力も得ました。

同校卒業生から今年、日本留学生（早稲田大学修士課程）が輩出されており、今後の発展に期待です。



各大学からの発表終了後、前方で質問する女子学生

4-2) 9/26 Bharati Vidyapeeth 大学 (プネ)

徳島大学と協定のあるBharati Vidyapeeth大学はインド全国ランキング61位（COEPは21位）の工学系の大学です。学長からインドにおけるインフラ整備、都市開発、浄水の課題等の話を伺った後、会場に移動しました。

学長や研究科長（写真右の女性）の挨拶と訪印団の紹介の後、JSTの西川代表によるさくらサイエンスプランの説明お

よび東京大学の小淵准教授（工学系研究科）による講義を実施しました。

講堂には190名近い生徒（専攻は建築と土木で半々）が集まり、質疑応答も活発に行われました。

日本留学に関する資料も全員に配布し、終了後も個別に質問が続き、高い関心を集めました。



真剣に聞く学生達で会場は満席

5-1) 9/27 R.N. Podar高校 (ムンバイ)

同名門校より今年3人の日本留学生（九州大学、名古屋大学、東京大学）が誕生したこともあり、日本留学への関心が高まり、説明会を初めて実施する機会を戴きました。

インド側の参加者は12年生150人とその家族4組で、講堂に学生は座って話を聞いてくれました

横浜市ムンバイ事務所山本忍所長とダニカ・バルチャー係長が傍聴されました。



プログラムを紹介する創価大学



紹介ビデオの音楽にリズムを合わせたり、表情も様々な高校生

インドにおける日本留学フェア（9月実施報告）

5-2) 9/27 DHIRUBHAI AMBANI INTERNATIONAL SCHOOL (ムンバイ)

JST主催で非常に裕福な子弟層が通うインドのインターナショナルスクールランキング1位校を訪問しました。表敬訪問が目的で、カレッジカウンセラーとカリキュラム担当が迎えてくれました。

今年4月にさくらサイエンスプランで日本を訪問した学生5人中4人(男子1人と女子3人)が同席して、楽しかった日本訪問の思い出を話してくれました。

米国大使館が近くにある立地で、隣接するアメリカンスクールと人工芝の運動場を共同利用していました。

12年前に創立した新設校で、化学、物理、生物、数学の各教室への案内がありました。

同校より日本留学者の実績はまだないため、今回の訪問を契機に関係を構築していくことを確認しました。



6-1) 9/28 The Cathedral & John Connon School (ムンバイ)

JST主催で伝統的な名門高校を表敬訪問しました。昨年、留学説明会を実施した学校で、校長先生を筆頭にカウンセラーの方々も含めてお会いすることができました。

さくらサイエンスとジェネシスで日本を訪問した経験を経て、関心が高まっているようです。

訪問後日、カウンセラーより来年度の具体的な交流プログラムに関する照会が入り、タイミングのよい面会が功を奏しました。



教会建築が美しい外観の高校



友好的に迎えてくれた校長(中央)と副校長2名

6-2) 9/28 インド工科大学ボンベイ校工業デザイン学科(ムンバイ)

IIT-BのIndustrial Design Center (IDC)学科長のもと、アトリエ各所の紹介、IDCの社会奉仕を理念としたデザイン取組の説明を受けた後、建築専攻の約60人の参加学生向けに小淵准教授の講義を実施しました。

ロンドンAAスクールで小淵准教授の指導を受け、現在、設計会社を経営する卒業生も駆け付け、今後の相互交流の関係深化への意欲を示してくれました。また、IDC学科長からも日印学術交流に向けての言及、その後のメール連絡もあり、ロンドンからの

インド人卒業生ネットワークも合わせて、今後の日印交流の基盤作りの契機となりました。



(左手前3番目より)
教え子のMhatre氏、IDC学科長
Chakravarthy教授、小淵准教授

6-3) 9/28 インド工科大学ボンベイ校(ムンバイ)

インド最高学府である同大学にてセミナー開始30分前から会場手前に設置されたブースで個別対応を開始しました。資料を片手にセミナーに参加する姿が多くみられ、ブース参加者は150名以上、セミナー参加者は約100名でした。

今年は、日本と共同研究している先生2人とインド人学生4人(京大留学生1人と東大・京大でインターン

シップ経験したIITB学生の計3人)の体験談も紹介し、ムンバイ総領事を主賓にお迎えして会場の反応も上々でした。



在ムンバイ日本国総領事館
伊藤総領事



